

財部高校跡地を新たな畜産拠点へ vol.3

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地へ「南九州畜産獣医学拠点」の誘致および整備を計画しています。

Q なぜ畜産獣医学拠点を つくるのか



曾於市の畜産はスゴイ！

曾於市の畜産産出額は農業生産額の8割を占めており、なかでも肉用牛の生産額は134億円でなんと全国3位です。全国1位は都城市、2位は鹿屋市と南九州地域は全国有数の畜産地帯です。

曾於市の畜産産出額（令和2年度）

肉用牛	134億9千万円	全国3位
豚	161億7千万円	全国3位
ブロイラー	50億7千万円	全国13位



高齢化と多頭化

令和3年の畜産農家の平均年齢は69.5歳で高齢化が進んでいます。また平成30年と令和3年を比較すると、畜産農家数は164戸減少し、1農家当たりの肉用牛飼養頭数は39頭で約10頭増加しています。

畜産農家を取り巻く課題

01

省力化

現在の労働力で多頭化に対応

02

安全性

消費者の食の安心・安全意識の高まり

03

獣医師不足

産業動物獣医師数は獣医師全体の約1割と少なく慢性的に不足

04

海外輸出

国内市場の縮小にともない海外輸出を見据えた生産行程管理

南九州畜産獣医学拠点ができること

- ◎「先端技術の習得の場」の提供
- ◎「飼養技術の学びの場」の提供

- ◎家畜の疾病予防・治療
- ◎畜産関係者へ防疫・衛生管理の技術的指導

- ◎国際的な獣医師の育成・輩出
- ◎産業動物獣医師の体験学習を通じた将来の人材確保

- ◎国際基準の生産工程管理の知識と技術習得

A 畜産業は曾於市の基幹産業。畜産業の持続的な発展を目指し、畜産農家を取り巻く課題解決や財部地域の活性化を実現するため南九州畜産獣医学拠点を整備します。

お問い合わせ 企画課 地域創生推進室 ☎ 0986-76-8802
財部高校跡地対策係

過去の記事は
こちらから

